

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は  ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	文学研究科
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 文学研究科の理念と目的を共有化し、適切性を点検・検討するための全教員による会を定期的に開催する。	→ 会の開催実績と記録	B	C	C	B	/
2. 文学研究科の理念と目的について、教員・学生への周知徹底を図る。	→ 学生による授業評価アンケートによる認知度調査	B	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	文学研究科のホームページには、カリキュラム・ポリシー、履修モデル、カリキュラムマップ、ディプロマ・ポリシー、学位取得プロセス図、学位論文審査基準を掲載し、教員・学生に周知している。定例文学研究科委員会、領域代表者会議、大学院問題検討委員会では上記に関わる諸課題を審議し、自己評価委員会では集中的に理念・目的を点検した。
目標2	大学院履修・学習要覧Webサイト、文学研究科ホームページ、および『大学院履修心得』により、教員・学生への周知徹底を図った。2011年度に引き続き、「学生による授業評価」アンケートで本研究科の理念・目的の認知度を調査したところ、2012年度はそれぞれ37%(春)と36%(秋)に留まった。アンケート回収率が15%(秋)、19%(春)と低いため、理念の認知度調査方法の改善が必要である。
備考	